

## 第2章

---

### 県民交流広場間のネットワークの推進

---

## 1 地域コミュニティ・アワード2013の実施概要

県民交流広場の実施地域が708地区、県内全校区の85%となる中、広場活動がさらに充実して実施されるよう、全県レベルでの交流の場として、「地域コミュニティ・アワード2013」を平成25年11月23日（土）に兵庫県立但馬長寿の郷（養父市）において実施。

同時開催イベントとして、ふるさと但馬“いきいき・わくわく”フェスタや、但馬長寿の郷第11回まごころまつりが開催され、家族連れなど約1,100人が訪れた。

当日は、地域の代表によるブース展示をはじめ、広場同士の交流を図る広場お見合い会、モデル的活動を展開している広場のコミュニティ賞の表彰式を行った。

### 1 各県民局の地域代表によるブース展示

各県民局の代表2地区、計20地区の広場実施地域のブースが出展。

木工手づくりおもちゃの展示や、都市と農村交流、歴史と伝統を活かした地域づくりの取組紹介、ふれあい喫茶を通じた活動紹介、ぜんざいやお餅などの特産品の販売など、ユニークな取組やモデル的な活動について、工夫を凝らしたパネル展示により日頃の活動を披露した。今後の継続した活動に向け、それぞれの広場が交流し、学習し合う良い機会となった。



### 2 広場同士の交流を図る広場お見合い会

6、7団体の広場同士がお互いのブースを見学し、活動を説明し合うことにより、顔と顔が見える関係を作り、アワード終了後も交流ができるようにするための広場お見合い会を実施。

コミュニティ応援隊の柏木登起氏、坂本津留代氏、横山宜致氏をコーディネーターに迎え、各広場の代表者が3つのグループに分かれて活動報告、意見交換を行った。



それぞれの広場の独自の取り組みについて再認識するとともに、他の広場の活動内容も知ることで、今後の交流に向けた良い機会となった。

### 3 モデル的な活動をしている広場の顕彰

選考委員が各展示ブースをまわり、出展した広場の中から、今後のモデルとなる活動や特徴的な取組を展開している5つの広場を「県民交流広場コミュニティ賞」の部門賞として、展示内容や出展者との意見交換をもとに選考し、金澤副知事から部門賞と奨励賞を贈呈。



野崎隆一選考委員長からは、「例年になく、地域間交流をテーマにしているところが多かった他、ビジネス的な視点を取り入れたり、会合の持ち方を工夫している団体も多く出展されていた。同じ目線で活動している者同士が情報交換したり、意見交換するのが一番効果的なので、今日の発表や参加をぜひ、活かしていただきたい。」との講評があった。

#### 《 県民交流広場コミュニティ賞 部門賞 》

- |           |                             |                 |
|-----------|-----------------------------|-----------------|
| ① いきいき広場賞 | ： 宍粟市 <sup>はが</sup> 波賀地区    | 谷村おこしの会         |
| ② なるほど広場賞 | ： 養父市 <sup>たきのや</sup> 建屋地区  | 建屋校区自治協議会       |
| ③ みんなで広場賞 | ： 丹波市 <sup>ちゅうおう</sup> 中央地区 | 中央地区自治振興会       |
| ④ すくすく広場賞 | ： 宝塚市 <sup>すえなり</sup> 末成地区  | 末成小学校地域まちづくり協議会 |
| ⑤ しっかり広場賞 | ： 明石市 <sup>ひとまる</sup> 人丸地区  | 人丸まちづくり推進会      |

## 1-1 開会式 10:00~

〔岡田代表：あいさつ〕

ただいまご紹介いただきました、県民交流広場全県連絡協議会代表世話人の岡田と申します。神戸市の北区八多町から来ております。どうぞよろしくお願いいたします。

地域コミュニティ・アワードは、今回で5回目ということで、嬉野台生涯教育センターで2回やりまして、3回目は神戸市の兵庫県公館で、4回目の去年が淡路、5回目が今年ということでございます。

私は3回目の県公館の時に神戸市の代表をやってくれということで代表をさせていただいております。井戸知事がふるさとづくりということをおっしゃっていますが、アワードに毎年来るのを楽しみにしているのですが、今、高齢化社会とか、後継者がいないとか、あるいは若い人が参加しないとか色々な問題があると思いますが、ここへ来たら元気になります。

これが私の楽しみになっておりまして、たくさんの元気をもらって帰りたいなと思っております。



また、ご準備いただいた方々、本当にありがとうございました。県民交流広場の皆様方、事務局の皆様方、県民局の皆様方に改めて御礼を申し上げたいと思います。

さて、本日も20のブースが出るのですが、私も審査員として回らせていただきます。5つの部門があるのですが、それぞれ回りましたらPRをよろしくお願いいたしますと思います。

この賞は優劣をつけるものではないですけれども、せっかく色々やっていたいいるのですから、それぞれ取り組んでいることを十分聞きたいと思いますので広場の方は、PRをよろしくお願いいたします。

今年が目玉としては、お見合い広場というものを実施します。兵庫県は広いですから交流を目的として、各参加者のお見合いをいたします。これを機会として、色々な交流が進めば嬉しいなと思います。

今日はふるさと但馬いきいき交流フェスタ、但馬長寿の郷まごころまつりと一緒にやらせていただいておりますので、最後までよろしくお願いいたしますと思います。

それでは、今から地域コミュニティ・アワード2013を始めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

〔藤原部長：あいさつ〕

みなさん、おはようございます。

早朝から、また県下各地域から多くの皆様方に地域コミュニティ・アワードにご参集いただきまして、ありがとうございます。

県民交流広場事業は、県下で709の地区で開設されて活動が展開されており、様々な地域課題、様々な分野で活動が広がっているという認識をいたしております。

ご案内のとおり、県民交流広場は県民法人税の超過課税を活用しまして、整備費と活動費の助成をさせていただいております。企業・法人のみなさんのご協力の上で成り立っている事業ですので、よろしく願いさせていただきます。

今日は5回目のアワードということで、但馬長寿の郷で開催させていただいておりますが、各県民局ごとに2団体ずつ推薦をいただいて、計20団体のみなさまにお越しいただいております。

今日の構成は、岡田代表からお話がありましたが、ブースごとにそれぞれ団体の活動状況をPRしてもらうコーナーと、広場同士交流してもらうお見合い会、そして表彰ということで5つの部門賞と15の奨励賞をお渡しするということになっております。

それとあわせて、但馬県民局の「いきいき・わくわくフェスタ」、但馬長寿の郷の「まごころまつり」の2つの行事があわせて開催されるということで、ぜひ今日一日お楽しみいただきたいと思っております。

また、各県民交流広場で課題や悩みがあると思っておりますので、このアワードでできるだけ広場間で交流していただいて情報交換や情報共有を行い、ネットワークを築いていただければと思っておりますので、よろしく願います。

最後になりましたが、それぞれの広場がますます発展して活動されることをお祈りましてごあいさつとさせていただきます。



〔野崎委員長：あいさつ〕

どうも皆さん、こんにちは。

今日は朝から、晴れなのか曇っているのかよくわからないような、懐かしい但馬のお天気です。

今日は、今ご紹介のありました審査員でそれぞれブースを回りたいと思っております。

県民交流広場事業というのは、それぞれの地域でアイデアを出して取り組んでいただく事業ですので、本当に多様な事業が展開されております。

本日お越しの地区は、それぞれの地域で評価を受けて出てこられたところばかりですので、全団体がアワードで表彰を受けることになっております。

その中で、地域の多様な活動をひとつの賞で顕すのは難しいということで、それぞれの特徴にあわせて5つの賞を設けております。

なお、20 団体中 5 団体を選考することになって  
おりますが、決して優劣をつけるものではなくて、  
審査員にアピールをしていただいて印象に残った  
ところや印象が強かったところを選ぼうというこ  
とになっています。

審査員も本当に悩みながらやっているのですが、  
審査員がブースに行きましたら、皆さん精いっば  
いアピールしてください。私どもも多様な活動の  
広場に出会えるということで、楽しみにしておりますので、よろしくお願ひします。



## 1-2 県民交流広場お見合い会 13:45~15:00

### ◇お見合い会の進め方

広場の現状、特性等を熟知したアドバイザーグループのメンバーがコーディネーターになり6、7団体の広場同士がお互いのブースを見学し、活動を説明し合う。

### ◇グループ分け

Aグループ：神戸市東灘区本庄地区、芦屋市浜風地区、宝塚市末成地区、小野市大部地区、神河町寺前地区、宍粟市波賀地域、丹波市中央地区

Bグループ：三田市小野地区、明石市人丸地区、西脇市重春・野村地区、上郡町上郡校区、豊岡市西気地区、養父市建屋地区

Cグループ：神戸市須磨区菅の台地区、西宮市鳴尾東地区、加古川市米田地区、姫路市御国野地区、篠山市福住地区、洲本市大野地区、南あわじ市広田地区

### ◇コーディネーター

Aグループ：(財)兵庫丹波の森協会丹波の森研究所専門研究員	横山 宜致 氏
Bグループ：(特)シーズ加古川事務局長	柏木 登起 氏
Cグループ：井吹東ふれあいのまちづくり協議会委員長	坂本 津留代 氏



### 〔坂本氏：講評〕

こんにちは。今日は早くに家を出てきましたので、疲れが出ているかと思ったのですが、すごく楽しく、さわやかな気持ちでここに立たせていただいています。私は講評ということですが、Cグループを回らせていただいて、いくつかのキーワードがありました。

まず、住み続けたいまちづくりというのを何点か出されていきました。ここに来られている人たちって凄いなと思うことがいくつかありました。

ずっと人口が減少している淡路のなかで、人口が横ばいを維持している地区があり、その秘訣を聞くと、みんなで楽しくスポーツしているんですと。子どもを呼べば親も来るし、おじいちゃん、おばあちゃんも写真を撮りにやってくる。なるほど。うまいなあと思いました。

また、もう一つは、来年きっとテレビにすごく出ているだろうと思われる姫路です。ど

のバスの後ろにも、「黒田官兵衛」と書いてありますけども、そういう町の方に熱い思いを聞きました。

その次は、「八重の桜」の前の「平清盛」の須磨に行ったのですが、そこも一生懸命、本当にすばらしいまちづくりだなあと思いました。高齢化を迎えていても、みんなで仲良く年をとってもできることをすることといわれたんですね。年をとったからしてもらうのではなく、私も、私たちにもまだまだやることがあるというまちづくりをお話しただいて、本当にすばらしいと思いました。

もう一つは、これはお見合い会が終わってからお聞きしたのですが、西宮のある方が、「私たちは地域で一生懸命がんばっているけれども、もっとがんばらないといけないよね。兵庫県からたくさん応援をしていただいて県民交流広場をこういうふうにさせていただいて、まだまだ代表や役員だという自覚を持ってがんばらなあかんね。」とおっしゃっていました。これだけがんばってらっしゃる地域団体がまだがんばらないといけないねというのは頭が下がります。本当に、今日は本当にすばらしい地域団体さんが参加をされてると思いました。

それと、特産品について、私はたくさん買ってしまったのですが、高校生に本当に恥ずかしそうに「これ買ってください、いいものです。」といわれると「はい、全部ください。」と言いきるくらいうれしかったです。また、とってもすてきなおじさん、おばさまたちが、すばらしい笑顔で自分の町の特産品を売り込んでおられたのも本当にすばらしく、兵庫県というところは、どんなものもあって、ないものはない。おいしいものがあって、美しい景色があって、そして人間がこんなに笑顔で温かくて、こんなすばらしい県に生まれてよかったなと思うし、またこれからもこの県に住み続けたいなと思えた一日でした。



講評になるかといわれたらならないかもしれませんが、皆さんとともに兵庫県に生まれてよかった、これからもこの町に、この兵庫県に住み続けたいと思えた一日だったと思います。

ありがとうございました。

〔金澤副知事：あいさつ〕

皆さん、こんにちは。ご紹介いただきました副知事の金澤です。今日は井戸知事が来られないため、大役を務めさせていただきます。今日は、地域コミュニティ・アワード2013ということで、県下各地から選りすぐりの県民交流広場のみなさんに、この但馬長寿の郷においていただきまして本当にありがとうございました。

日頃からそれぞれの地域で、様々な広場を展開されておられます皆様本当に心から敬意を表し、感謝申し上げます。

それから、今日ここに来られていない県民交流広場にもいろいろな活動がございます。県下では709の県民交流広場が設けられています。もちろん、これは県の政策としてそういう場づくりに取り組んできたわけですが、県が行政の立場でできることは、そういった場づくりのお手伝いをする。実際にそこで何をさせていただくか、どういう活動をしていただくかということは、それぞれの



地域に住んでおられる方々にお任せせざるを得ない。ですから、709それぞれの県民交流広場で行われている活動、今日何か所かいろいろお話を伺わせていただきましたが、本当に多岐にわたっていろいろな多彩な活動が行われています。

もちろんそれぞれの構成も様々ですし、抱えている問題も様々ですから活動も様々なのは当然だと思います。

今日は、アワードの表彰式ということで、よくやっていただいたところを表彰するような形にならざるを得ないのですが、審査員の方は毎回大変な苦勞をされていますが、実は優劣なんかつけられるはずは全くありません。それぞれの活動、それぞれの地域に根ざした個性ある活動ですので、それを何か所か引っ張り上げてよくできましたねといえるものではありません。あえてそういうことができるとすれば、いろいろな活動のバリエーションがありますので、その特色の中で、特にこういうところが個性的だということがある活動について、その個性的なところを引っ張り出して賞の対象にするというようなことにとどまるのではないかと思います。

本当に県民交流広場のそれぞれの地域の活動は多彩であるというところがいいのではないかと思います。現在、それぞれの地域が少子化、高齢化で、日本全体の経済活動が曲がり角にさしかかっています。それぞれの地域の経済や雇用をこれから永続的にさせていくのかということを見ると、本当に大変な課題に直面していると思います。ただ、なにより大事なことは、そこに住んでいらっしゃる人たちが、そこに住んでいて幸せ、良かった、うれしい、住み続けたいというふうに思うかどうかというのが第一歩ではないかと思います。今住んでいらっしゃる皆さんがそう思える地域であれば、そうした気持ちは子どもたちに必ず伝わっていく。子どもたちに伝わっていけば、その次の子どもたちが地域に対する熱い思いを持ち、地域の外に出たとしてもそういう熱い思いを持ち続けたまま暮らして

いくこととなります。

実は、先日、この豊岡で地域夢会議というのがありまして、そのときに但馬の子どもたち、高校生にいろんな発表をしてもらいました。そのとき感じたのは、但馬の子どもたちは但馬が大好きで、できれば職場があれば但馬の中で暮らし続けたいという人たちが、非常に多かった。ほとんどの子どもたちができればこの但馬に住み続けられるような職場づくりをしてほしい、そんな気持ちで語っておられました。そういう気持ちで子どもたちが育つのであれば、いろんな問題はあるかもしれないけども、これからも但馬を愛する人たちに支えられて、しっかりと道を切り開いていこうと思えます。

おそらく、今日お集まりの県民交流広場の皆様のそれぞれの地域も、そうした熱い気持ちが子どもたちに伝わっていくような活動をされていると思いますし、それが届けば地域を発展させていくことができるのではないかと思います。

皆さん方のこれまでの活動に心から敬意を表し、また、それがこれからも末永く受け継がれることを心から祈念いたしまして私からの挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

### 〔野崎委員長：講評〕

皆さん、お疲れ様でした。審査の過程で票が割れたりしまして、結構審査は大変でした。

いつも言っているのですが、総合点では20団体みなさん及第点で、では、なぜこのような賞を作ったかといういろいろな取り組みがあり、いろいろなアイデアが出てきますので、皆さんの今後の参考になればいいなというようなアイデアが見えたところを取り上げさせていただいたということです。



今日は、いろんな団体を回らせていただいて、いくつかおもしろいなと思ったところを取り上げて講評とさせていただきたいと思えます。

一つは、地域資源の活用なんですけども、これは都会では難しいかもしれないですが、地方に行きますと本当に自慢が一杯で、満ちあふれていたと思えます。

特に姫路は、来年黒田官兵衛がくるということで、非常に力が入っていたのが印象的でした。これはぜひがんばっていただきたいと思えます。

それから、アイデアの部門では、女性救命士の育成です。単なる救命士ではなくて、救命士というのは胸を押さえることもあるので、女性は女性にやってもらう方がいいですよ。男性の救命士ばかりそろえても仕方がないということで、女性救命士をやろうということで、なるほどと思えました。

それから居酒屋をやろうというのがあります。結構、こういう交流広場をやると男性がなかなか来にくい。うまくできれば居酒屋というのはありだと思います。実際にお話を聞くと、男性ばかり来ているのではなくて、家族づれで来て、子どもは子どもで楽しめるような仕組みをして居酒屋を運営されています。

あとは、いろいろ運営していく上での意見集約について、全戸アンケートを何度もやっ

ておられる団体がありました。それからどんな活動をしたいか地域全体から提案募集をして、それをみんなで検討して実施している団体もありました。地域の声をどうくみ上げて活動に活かしていくのかということも大事な取り組みかと思います。

あと、特産品が今回すごく目立っていましたね。瓢箪、ブルーベリー、栃餅、こんにゃくなど。審査員が審査している間に商品が売り切れて買えなかった審査員もいました。私もブルーベリーを1個最後に買えましたが。

それから、もう一点は人材おこしですね。2つの地域でITの達人が関わっておられて、ニュースやチラシをその方がすべて作成されていましたが、そういった達人をうまく地域から拾い上げていくと活動が広がるといえるかもしれませんね。

あとは、参加だとか地域の人たちの巻き込みなんですけど、町の文化祭や親子イベントをやって、おじいちゃんの写真を撮るとかですね。ある地域では、やる方も大変なんですよ。うまく分担をしながら毎月欠かさずイベントをやっている地域がありました。

そんなところが今回は印象に残りました。

また、今回初めてしたお見合いを見てましてもこれまでのグループ討議より皆さん意見交換ができていましたので、非常に良かったと思います。ぜひ、お見合いからお付き合いへ発展していけばうれしいと思います。いろんな特産品もできたりしていますけれども、そういった交流が地域の産業を生むというか、大きく稼ぐ必要はないですが、地域の人たちの小遣いになるくらいの小さな産業になればと思います。

皆さん、たくさんの小さな工夫をされていますが、それをぜひ皆さんの間で分かち合っ

て盛り上げていただければと思います。

今日は、いろんな工夫をいただきましたので、本当にうれしかったです。

どうもありがとうございました。

### 《選考基準》

- ① いきいき広場部門：地域性（地域の個性、地域資源を生かした取組が顕著である。）
- ② なるほど広場部門：独創性（ユニークなアイデアや独創的な取組が顕著である。）
- ③ みんなで広場部門：多様性（多くの住民や団体等を巻き込んだ取組、効果的な情報発信、地域を越えた連携が顕著である。）
- ④ すくすく広場部門：継続性（新たなリーダーの養成や安定的な財源確保の工夫などの取組が顕著である。）
- ⑤ しっかり広場部門：組織運営の堅実性（民主的な意思決定機構や幅広い住民の意見聴取など組織運営上の取組が顕著である。）



# 地域コミュニティ・アワード2013

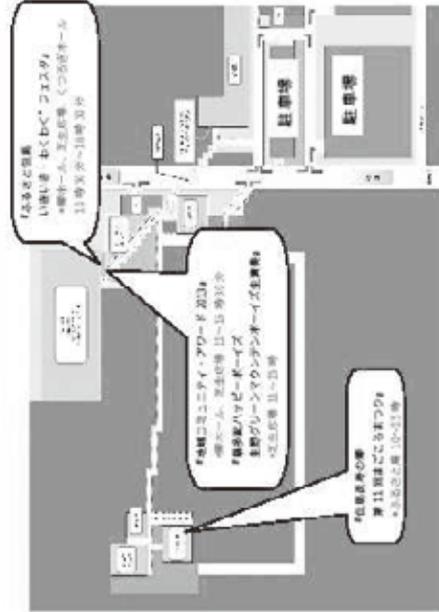
県内各地から様々な特色のある  
県民交流広場が一堂に集結



## タイムスケジュール

- 10:30 ウェルカムステージ(郷ホール)  
おおよや和太鼓隊「鶴舞星」
- 11:00 オープニングセレモニー(郷ホール)  
開会あいさつ
- 11:15 但馬の伝統芸能(郷ホール)  
◇海上奪旗(新温泉町)  
◇大杉さんざこ踊(養父市)
- 13:00 ~ 14:00  
藤原次郎「但馬スケッチ」(郷ホール)  
映像上映・座談会
- 13:45 県民交流広場お見合い会(ホワイエ)
- 15:00 広場ステージ発表(郷ホール)  
【ひょうたん志保員と本物の志保員との  
共演と実演】(神戸町・寺前地区)  
【フルート演奏】(養父市・建屋地区)
- 15:40 広場お見合い会(郷ホール)
- 15:45 コミュニティアワード表彰式(郷ホール)

## 会場全体マップ



## 地域コミュニティアワードについて

「いこいふれあい」並び、楽しむ場但馬長寿の郷を舞台に、地域づくりにはかかせない「交流」と「地域コミュニティ」をキーワードに、地域づくりに関わっている方々のふれあいの空間を提供します。

同時開催イベントとして「ふるさと但馬 いきいきわくわくフェスタ」但馬長寿の郷第11回まごころまつりも開催されます。

すばらしいひとときをお過ごし下さい。

## 地域コミュニティアワード2013

県民交流広場を通じて培われた人と人とのつながりや活動を継承し、事業の成果を生かすために、全県規模で、広場若動にたずさわっている方が活動のノウハウや課題を共有し、意欲を高める交流の場づくりとして、地域コミュニティアワード2013を開催します。

\*郷ホール、芝生広場 11~16時30分

## 【同時開催イベント】

### ふるさと但馬「いきいきわくわくフェスタ

但馬地域の食や伝統芸能、写真展示など「ふるさと但馬」が十分に味わえます。

\*郷ホール、芝生広場、くつろぎホール 10時30分~16時30分

### 但馬長寿の郷第11回まごころまつり

但馬長寿の郷応援隊まごころクラブによる恒例のまごころまつりが開催されます。

\*ふるさと庵 10~15時



【ふるさと庵、音楽堂、ふれあい工房】

## 地域コミュニティアワード2013

【同時開催イベント】

ふるさと但馬「いきいきわくわくフェスタ

但馬長寿の郷第11回まごころまつり

日時：平成25年11月23日(土)11時~16時半  
場所：兵庫県立但馬長寿の郷(入場無料雨天決行)

主催

県民交流広場全県連絡協議会、兵庫県



## 1 神戸市東灘区本庄（ほんじょう）地区 本庄ふれあいのまちづくり協議会

本庄地区は地域の結束力により、阪神・淡路大震災からいち早く復興できた地域として、全国的にも評価されました。震災体験の継承事業のほか、子ども茶道・華道教室・子育て支援活動・食育・異世代交流活動などに取り組んでおり、地域を挙げて子供達を見守り育てていくことを心がけています。 連絡先：078-412-8470

## 2 神戸市須磨区菅の台（すがのだい）地区 菅の台ふれあいのまちづくり協議会

菅の台地区は昭和50年に入居が始まり、既に38年が過ぎ、須磨区内でも高齢化率が高い方に位置づけられています。「ふれあい菜園」活動では、野菜類の植え付け、育成、収穫、調理、食事といった活動を、幅広い年代の人達によって行うことにより世代間交流を図っています。 連絡先：078-791-2888

## 3 西宮市鳴尾東（なるおひがし）地区 鳴尾東コミュニティ協議会

当協議会では子どもも大人も楽しめるイベント中心に各種行事を実施することで、新住民である若年層が積極的に地域に溶け込み、活発な地域コミュニティが形成されるよう活動を行っています。地域劇団、映画会、カラオケ広場、ダンスなど幅広く世代間の交流イベントを開催しています。 連絡先：0798-48-9750  
(西宮市上田公会堂)

## 4 芦屋市浜風（はまかせ）地区 浜風地区集会所運営協議会

浜風地区は芦屋市南部に位置する70年代に新規埋立された閑静な住宅地で、少子高齢化が進む中で、もう一度住民自らが新しい「まちづくり・コミュニティづくり」の再構築を必要としており、その中で、住民の健康増進、自主防犯・防災、新たな交流機会の創造を中心に活動しています。 連絡先：0797-38-0960  
(浜風集会所)

## 5 宝塚市末成（すえなり）地区 末成小学校地域まちづくり協議会

本会は、健康で心がふれあい、心豊かに安心して暮らせるまちを目指し、住民の親睦と健康増進を図る運動会やふれあいまつり、子育て支援の子育てサロン、青少年の健全育成の基礎学力習得支援「寺子屋」、高齢者の心身の健康増進のふれあい喫茶など多くの活動に取り組んでいます。 連絡先：0797-71-4768

## 6 三田市小野（おの）地区 小野小学校区ふるさとづくり協議会

小野乙原地区は、三田市の北東部に位置し、周りを山に囲まれた田園地帯で、ご詠歌にも「小野の松風…」と歌われている歴史ある地区です。

少子高齢化と過疎化が最近の傾向であるなか、交流と地域コミュニティが活発になる活動としてふれあいビアガーデン、ふれあい居酒屋、公民館祭りなどを開催しています。 連絡先：079-566-0001

## 7 明石市人丸（ひとまる）地区 人丸まちづくり推進会

人丸まちづくり推進会では、「みんなでつくり・みんなで支え合う・オープンな地域づくり」を取組指針とし、12事業を展開しています。

また、まちおこし「まるちゃん」(人丸まちづくり推進会オリジナルご当地キャラクター)を活用した様々な活動を行っています。 連絡先：078-913-9915

## 8 加古川市米田町（よねだちょう）地区 米田会館運営協議会

米田会館運営協議会では、安全で安心して住める明るいまちづくり防犯活動を中心に実施しています。また、「住んでよかったまちづくり」を目指して、ふれあい盆踊り・町民文化祭・町民運動会の開催、稲わら細工や百人一首など昔あそびの実施を通じて世代間・住民間の交流・連携を図っていきます。 連絡先：079-432-3488

## 9 西脇市重春・野村（しげはる・のむら）地区 重春・野村地区交流推進委員会

重春・野村地区は西脇市内で最大の地区（世帯数4,800余）であり、両地区の住民が「親睦と協働」が出来るように、盆踊りや諸事業を通じて地域の交流と活性化を旨とした活動を行っています。また当地域は、自然や歴史の豊かなところであり、次世代の子供たちにも地域の良さを伝えるよう広報にも力を入れています。連絡先：0795-38-8061

## 10 小野市大部（おおべ）地区 大部地区地域づくり協議会

花いっぱい運動、あいさつ運動、青少年健全育成、イベントを通じた住民の交流・ふれあいの推進などの活動を通じて、「住みよい、住んで良かった、誇りに思えるまちおおべ」の実現を目指しています。

おおべ地区の夏まつり「おおべのショー」では、ステージ出演者数の増加などにより、参加者も増えて、にぎやかになり、更なる活性化を図ることができました。 連絡先：0794-63-6100

## 11 姫路市御国野（みくにの）地区 御国野地域推進委員会

「住んで良かったまちづくり」を合い言葉に、地域住民全員の参画意識・協働意識を高めるための活動を実施しています。県民交流広場事業で整備した「みくにの広場」のホームページをフルに活用して、各種団体の活動状況を広く町内外に情報発信しています。『軍師官兵衛』放映を住民全員参画によるまちおこしの絶好の機会と捉え、黒田官兵衛や御国野地域の歴史・史跡に関する講演会、研修会、歴史ウォーク、みくにの官兵衛そば祭、ボランティアガイドによる史跡案内など、さまざまな『おもてなし事業』に取り組んでいます。連絡先：079-252-4420

## 13 宍粟市波賀（はが）地区 谷村おこしの会

当地区では既に県民交流広場事業の補助期間が終了しているため、拠点施設「ふれあいの館」のある谷自治会有志により結成している『谷村おこしの会』が運営主体となって、引き続き事業を実施しています。

ブルーベリーを使用したシフォンケーキの販売、カブト虫の養殖、炭焼き体験など様々な活動を行っています。連絡先：0790-75-3336

## 15 豊岡市西気（にしき）地区 西気地区区長会

西気地区は、アウトドアスポーツのメッカである神鍋高原にあり四季を通した観光地ですが、少子高齢化、過疎化が進んでいるため、異世代交流事業や子育て・高齢者支援のほか、サークル活動への支援を行っています。また、観光協会等と連携し、和太鼓グループの立ち上げ、神鍋山野草カレンダーの製作など地域の魅力を内外に発信する活動などにも取り組んでいます。連絡先：0796-45-1316

## 17 篠山市福住（ふくすみ）地区 福住地区まちづくり協議会

篠山と京都を結ぶ街道沿いにあった福住地区は、江戸時代には宿場町として発展しました。歴史ある地域資源を活用しながら、「住んでよかった」、「住んでみたい」と思える将来にわたって誇れるまちづくりに向けて、「こころ豊かに、安心して暮らせるまち」づくり活動を推進しています。連絡先：090-1443-1604

## 19 洲本市大野（おおの）地区 大野地区県民交流広場推進委員会

大野地区は、明治期の3,500人から現在6,800人迄増加し、高速道路ICに近いことから洲本市の玄関口となりつつあります。

お米作りを中心としたわらじ文化とサラリーマン現代文化の住民間交流、子供、親、お婆ちゃんお爺ちゃん達との世代間交流を行うほか、大野の歴史を知り、伝え、残すことが重要と考えて取り組んでいます。連絡先：0799-24-3602

## 12 神河町寺前（てらまえ）地区 寺前県民交流広場事業推進委員会

小学生や高齢者を対象にしたひょうたん加工教室の開催によって地域住民同士の世代間交流の場ができています。また、瓢箪の栽培と加工を通して、地域の人たちとふれあい、植物の生育を観察し、様々なイベントに縁起物の瓢箪を提供することにより、地域に元気を発信しています。収穫祭にもお年寄りから子どもまで幅広く参加するようになっています。

連絡先：0790-34-0001

## 14 上郡町上郡（かみごおり）地区 上郡校区まちづくり推進委員会

上郡地区は、明治の頃より上郡町の中心地で、交通の要所でしたが、現在では当時の賑わいはありません。そこで、かつて賑わっていた中心市街地の菊森家を借用改装して交流の場を創設し、世代を越えて会話が絶えない、お互いを見守りあえるコミュニティづくりを目指して、「いつも青春・大人塾」や「命のバトン」などの活動を行っています。連絡先：0791-52-0287

## 16 養父市建屋（たきのや）地区 建屋校区自治協議会

建屋地区には兵庫100山の須留ヶ峰と、国指定天然記念物の「建屋のヒダリマキガヤ」があり、その場所は京都府第3代知事として琵琶湖疏水を完成させた「北垣国道」の生家跡でもあります。健康長寿を目指し生涯スポーツとして、3B体操教室とグランドゴルフを毎週行い、文化活動も絵手紙教室、ちぎり絵教室、フルーツ教室など10の講座を毎月行っています。連絡先：079-666-0272

## 18 丹波市中央（ちゅうおう）地区 中央地区自治振興会

学校や個人・団体、行政や企業とも連携し繋がりがながら、「地域は家族」をキャッチフレーズに「安心安全で笑顔があふれ将来も住み続けたいまち」をめざしています。

地域づくりにおいては持続可能であることが最重要であると考えており住民主導で進めています。

歴史ある愛宕祭を守り伝える一方で、ゴスペルコンサートや朝勉の会、軽トラ市、ふれあい田ねんなど特徴ある事業を展開しています。連絡先：0795-82-9800

## 20 南あわじ市広田（ひろた）地区 広田まちづくり協議会

広田地域は淡路島の人口減少傾向のなかで、人口が増加している数少ない地域の一つです。本協議会で個々の団体の独自活動を一体的で連携の取れた活動にして、全員参加の意識高揚を図ることにより地域のよいところを更に伸ばして『いつまでも住み続けたいまち』の実現を目指しています。

活動拠点に子どもの環境学習教材の「太陽光設置」とふれあいづくりに「広田梅林公園」を地域資源として活用しています。

連絡先：0799-44-3008

## 2 地域交流フェスタの実施概要

地域づくり活動、生涯学習、地域文化の振興など、これまでの生活創造センター、文教府・文化会館等での取組をベースに、県民局単位でも広場同士の交流を図り、相互活動のノウハウや課題を共有する地域交流フェスタを開催しました。

### ◆ 各地域における地域交流フェスタの実施内容

地域	日時・場所	事業名	合同で実施した事業
		実施内容	
全 県	11月23日(日) 11:00~16:00 県立但馬長寿の郷	地域コミュニティ・アワード2013	ふるさと但馬“いきいき・わくわく”フェスタ、但馬長寿の郷第11回まごころまつり
		県民交流広場のパネル展示・ステージ発表、広場お見合い会、特産品等PR	
神 戸	10月29日(火) 13:00~15:30 県立神戸生活創造センター	神戸地域県民交流フェスタ	県民交流広場フォローアップ事業「セミナー&喫茶で交流する県民交流広場の集い」
		「セミナー」「喫茶」を通じてコミュニティの活性化、活動のスキルアップをはかる。	
阪 神 南	11月21日(木) 13:30~15:30 アルカイクホール・ミニ	県民交流広場地域交流フェスタ	阪神南県民交流大会 阪神南青少年健全育成フォーラム
		県民交流広場のパネル展示、コミュニティ活動をテーマとした講演 ほか	
阪 神 北	11月23日(土)・24日(日) 10:00~17:00 いたみホール	阪神北地域交流フェスタ	きらっと☆阪神北オータムフェスタ 地域見本市
		県民交流広場のパネルによる活動紹介	
東 播 磨	7月22日(月) ~28日(日) 県立東播磨生活創造センター	東播磨地域交流フェスタ	かこむ創造フェスタ2013
		県民交流広場のパネル展示、地域活動団体によるステージ発表ほか	
北 播 磨	11月16日(土) 13:00~16:30 加西市健康福祉会館	県民交流ひろば大会	北はりま絆プロジェクト家族の絆シンポジウム、こころ豊かな美しい北播磨をめざす実践推進大会、北播磨地区自治会研究会
		県民交流広場の活動発表・パネル展示・地元特産品の販売	
中 播 磨	9月14日(土) 10:00~16:00 福崎町エルデホール周辺	中播磨地域活動交流メッセ	中播磨地域子育てネットワーク交流大会 なかはりま消費生活創造まつり 伝統文化ふれあいフェア
		県民交流広場のパネル展示(68地区活動紹介) 各地域団体の活動発表 地域づくり講演会 など	

地域	日時・場所	事業名	合同で実施した事業
		実施内容	
西播磨	10月27日(日) 10:00~16:00 西播磨総合庁舎内コンコース	西播磨地域交流フェスタ	西播磨オータムフェスタ in 光都2013
		広場実施団体による活動内容、活動写真等のパネル展示、パンフレットの配布ほか	
但馬	9月7日(土) 12:00~16:30 県立但馬文教府	但馬地域交流フェスタ 2013	但馬文教府創立 50 周年記念シンポジウム、但馬生活創造情報プラザ「みてやま交流会」、はばタン消費者ネット但馬「活動交流会」
		県民交流広場の活動発表、パネル展示、但馬地域ネットワーク会議(講演・パネルディスカッション)、特産品PR・販売	
丹波	10月27日(日) 10:00~16:00 丹波の森公苑	丹波地域交流フェスタ	丹波の森フェスティバル
		県民交流広場の活動展示、特産品を活かした料理・農産物の販売、ステージ発表	
淡路	10月6日(日) 10:00~15:00 県立淡路文化会館	淡路地域交流フェスタ 2013	いざなぎの丘元気っ子フェスティバル
		県民交流広場のパネル展示、特産品の販売など	

## 2-1 神戸地域県民交流フェスタ

- ◆ 日 時 平成 25 年 10 月 29 日(火) 13:00~15:30
- ◆ 場 所 県立神戸生活創造センター(神戸市中央区)

### ◆ 趣 旨

県民交流広場実施団体が区域を超えた相互交流を行い、課題・成果について情報共有することで、地域間の連携を促進すると共に、活動内容の充実や、取り組み意欲を向上させることを目的として実施。

### ◆ 内 容

セミナー及び講座により、コミュニティ活動のスキルアップを図ると共に、参加者間での交流を行った。

#### 第1部「地域コミュニティの活性化について」 13:00~13:45

地域コミュニティ活性化についての課題や改善方法を学ぶ

講師：NPO法人生涯学習サポート兵庫 理事長 山崎清治氏



#### 第2部「喫茶の魅力をもつめるおいしい珈琲のいれかた講座」 14:00~15:30

講師によるコーヒーのいれ方の指導・実習・交流等

講師：UCCコーヒーアカデミー 村田さおり氏 塚本利成氏



### ◆ 成 果

多数の広場関係者の出席を得るなか、各広場間での盛んな交流が行われた。

また、実践型のセミナー・講座の実施により、学んだ内容を今後の広場活動に速やかに活用することができた。

## 2-2 阪神南地域県民交流フェスタ

- ◆ 日時 平成25年11月21日(木) 13:30~15:30
- ◆ 場所 アルカイクホール・ミニ (尼崎市昭和通)

### ◆ 趣旨

阪神南地域の県民交流広場をはじめ、参画と協働により地域づくり活動を実践している方々やグループ等関係者が一堂に会して交流を図り、相互活動のノウハウや課題を共有する地域交流フェスタを開催し、県民交流広場の今後の継続的な取組への意欲を高め、活動充実に向けた機運の醸成を図る。

### ◆ 内容

#### ◇ さわやかステージ

ゴスペルグループ “LUNA LUCE (ルナルーチェ)”

西宮市を中心に活躍するママさん 8 人のゴスペルグループによるオープニングコンサートを開催。“オーハッピーデー”をはじめとする有名な曲を披露し、華やかにオープニングを彩った。

#### ◇ 地域づくり講演会

講師 栗木 剛 氏 (『motto ひょうご』事務局長)

演題 「笑顔になる 人づくり 地域づくり」

地域づくりを担う後継者をいかに育てるかなど、各地域での共通課題について考え、話し合い、今後の地域活動を継続、発展へのヒントを得られる場となった。

また、ユーモア溢れる講演で、演題のとおり会場から笑顔と笑い声の絶えない講演会となった。



#### ◇ 県民交流広場のパネル・作品展示

管内13広場の取組について、写真やイラスト等を交えたパネルや、広場活動で作成した手作り作品の展示を通じて紹介した。広場間の情報交換の場となるとともに、多くの参加者に県民交流広場の取組を発信し、関心を持ってもらう機会となった。



### ◆ 成果

- ・ パネル展示等を通じて県民交流広場の取組みを県民に広く周知することができた。
- ・ 3つのイベント（「県民交流大会」「青少年健全育成フォーラム」「県民交流広場地域交流フェスタ」）を合同開催することにより、地域で展開される多様な地域づくり活動を紹介するとともに、様々な分野で活躍する個人やグループの交流を図ることができた。

## 2-3 阪神北地域交流フェスタ

- ◆ 日時 : 平成25年11月23日(土)～24日(日) 10:00～17:00
- ◆ 場所 : いたみホール (伊丹市宮ノ前)

### ◆ 趣 旨

阪神北地域の県民交流広場をはじめ、子育てや環境、文化、生涯学習など様々な分野で活動する地域団体等の交流を図ることにより、活動のノウハウや課題を共有し、広場における今後の継続的な取組への意欲を高め、活動の充実を支援することを目的とする。

### ◆ 内 容

当日は「きらっと☆阪神北オータムフェスタ」(会場:いたみホール、三軒寺前広場、有岡城周辺)と合同開催し、両会場で約4,000人の来場者があった。

いたみホール・6階中ホールではHANKITAときめきステージとして“伊丹おもしろセミナー「ことばで伝える伊丹の文化学」、伊丹ときめきステージ、こども文化フェスタ、スマイルフェスタなどの多彩な内容の催し物や文化団体等によるステージ発表が開催された。また、同ホール3階～6階では、まちづくり協議会やコミュニティ推進協議会等県民交流広場実施団体をはじめとする地域で活動する団体など51団体によるブースの出展があり、日頃の活動の成果を発表するとともに交流を深めた。



#### 【県民交流広場出展地域】

- 伊丹市 神津地区まちづくり協議会
- 宝塚市 西谷地区まちづくり協議会
- 西谷地区まちづくり協議会(文化・研修部会)
- 中山台コミュニティ緑化環境対策部
- 長尾地区まちづくり協議会
- 川西市 けやき坂小学校区コミュニティ推進協議会

### ◆ 成 果

- ・パネル展示等を通じて県民交流広場の取り組みを多くの方に紹介することができた。
- ・「きらっと☆阪神北オータムフェスタ」と合同開催したことにより、様々な分野で活動する地域団体等との情報交換ができ交流や連携が深まった。
- ・開催場所が駅に近いホールということもあり、県民交流広場を多くの一般県民に周知することができた。

## 2-4 東播磨地域交流フェスタ

- ◆ 日 時 平成 25 年 7 月 22 日 (月) ~ 28 日 (日)
- ◆ 場 所 県立東播磨生活創造センター「かこむ」(加古川市加古川町)

### ◆ 趣 旨

東播磨地域の県民交流広場をはじめ、幅広い分野の地域活動団体等との交流を図り、活動におけるプラスの側面に着目した意見・情報の交換を通じて、効果的なノウハウを共有し、今後、一層の活動充実に向けた取組意欲の醸成を図る。

### ◆ 内 容

平成 25 年 7 月 22 日から東播磨生活創造センター「かこむ」(県加古川総合庁舎)において、「東播磨地域交流フェスタ」を「かこむ創造フェスタ」と同時開催した。地域活動団体の活動展示では、各地区の県民交流広場を紹介したパネルを展示し、来場者に広場の取組を PR した。さらに、約 30 団体による体験教室や、2 日間のステージ発表等を実施し、多くの来場者があつた。

また、4 月 20 日 (日) には、東播磨地域づくり交流会を開催。こちらにも、地域づくり活動応援事業の助成団体とともに、名刺交換と情報交換を行い、交流を図つた。情報交換会では、地域活動でのプラスの側面(活動を通して感動したこと、活動において効果的だった方策 等)に着目し、グループで情報交換を行つた。



【全広場のパネルを展示】



【地域づくり活動交流会の様子】



【フェスタの様子】



### ◆ 成 果

交流会やフェスタでの PR 活動を通して、県民交流広場の活動を広く周知することができた。また、様々な活動団体との交流や情報交換から、活動への前向きな思いや、「地域のために」という活動の原点を共有し、活動充実に向けた意識の高まりが感じられた。

## 2-5 北播磨地域県民交流フェスタ

- ◆ 日時 平成 25 年 11 月 16 日(土) 13:30~16:30
- ◆ 場所 加西市健康福祉会館(ラヴィかさい) (加西市北条町)

### ◆ 趣 旨

社会の成熟化や少子高齢化が進むなか、誰もがいきいきと暮らせる元気で安心な地域コミュニティを実現するため、参画と協働のもと多様な主体がネットワークを形成しながら、すべての人々にこころ豊かにいきる感動を与える「美しい兵庫」をめざした取組を展開する必要がある。

このため、地域づくりに貢献された方々、地域ボランティア活動に功績があった方々を顕彰するとともに、実践活動団体をはじめ、自治会関係者や、ボランティア等が交流し、絆を深めることにより、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを推進する。

### ◆ 内 容

#### ◇さわやかステージ

#### ◇表 彰 兵庫県知事表彰

(兵庫県自治賞、こうのとりのり賞、くすのき賞、のじぎく賞)

家族川柳コンテスト入賞者表彰

#### ◇実践活動発表

中野間(多可町)、  
三草ふれあい広場(加東市)



#### ◇講 演 朝日放送パーソナリティ 道上 洋三 氏

「ラジオと共に 37 年、ことばと心」

～地域コミュニティと家族の絆～

#### ◇その他 県民交流広場の活動パネル展示 全地区

活動ブース展示 4 地区

野菜や特産品の販売 4 地区



### ◆ 成 果

多くの方の参加を得、「こころ豊かな美しい北播磨」の実現をめざす地域づくり活動の推進を図るとともに、自治会関係者や、ボランティア等との交流で、目的である北播磨の「家族の絆」「地域の絆」「生活(くらし)の絆」を深める良き大会であった。

## 2-6 中播磨地域活動交流メッセ

◆ 日時 平成25年9月14日(土) 10:00~16:00  
◆ 場所 福崎町エルデホール周辺 (神崎郡福崎町)

### ◆ 趣 旨

中播磨地域の地域団体が、先導的な活動を行っている他団体の活動を知り、協働して活動するきっかけをつくるとともに、地域の活動と家庭をつなぎ、より一層、地域コミュニティの活性化を図ることを目的として、地域団体の実践活動発表及び地域住民同士の交流の場となるイベントを実施。

### ◆ 内 容

#### ◇県民交流広場活動パネル展

中播磨県民局管内の県民交流広場実施地区の活動についてパネル展示で紹介。

#### ◇中播磨地域婦人会連絡協議会おいしいご飯を食べよう県民運動

カレーライス、炊き込みご飯の無料配布。

#### ◇伝統文化ふれあいフェア実行委員会 (中播磨青少年本部)

和太鼓づくり、万華鏡づくり、お茶席、昔あそびなど。

#### ◇なかはりま消費生活創造まつり

版画刷り体験、紙芝居体験、商品テスト体験、消費者クイズなど。

#### ◇中播磨地域ビジョン委員会活動発表

とんぼ祭り・虫送りの写真展、県民アンケート、袋栽培野菜の展示、ニュースポーツ吹き矢など。



【おいしいご飯を食べよう県民運動】



【なかはりま消費生活創造まつり】



【県民交流広場パネル展示】



【伝統文化ふれあいフェア】



【中播磨地域ビジョン委員会 写真展】

### ◆ 成 果

様々な活動に取り組む団体に広く参加を呼びかけたことにより、当日は5000人を超える参加があり、パネル展示や活動発表を通して県民交流広場の活動を広くPRできた。

## 2-7 西播磨地域県民交流フェスタ

- ◆ 日 時 平成 25 年 10 月 27 日(土) 10:00~16:00
- ◆ 場 所 西播磨総合庁舎内コンコース (上郡町光都)

### ◆ 趣 旨

西播磨地域の活性化と連携・交流の促進を図ることを目的とした「西播磨オータムフェスタ in 光都」と同時開催することにより、多くの来場者に日頃の活動の成果を発信するとともに、他の県民交流広場や各種団体の関係者等と、相互に活動のノウハウや課題を共有する。

### ◆ 内 容

他地区のモデルとなる先導的な活動や取り組みを実施している県民交流広場の2団体が出展し、日頃の活動の成果を発表した。

#### ○『谷村おこしの会』《宍粟市波賀地区》

- ・「炭焼き体験」、「ブルーベリー祭り」、「カブト虫の飼育」、「こんにゃくづくり講習会」等の活動内容について、パネル展示により紹介。
- ・活動の概要、イベントの紹介等を掲載したチラシの配布。
- ・ブルーベリージャム、ブルーベリーシフォンケーキのレシピの配布。



#### ○『上郡校区まちづくり推進委員会』《上郡町上郡地区》

- ・「いつも青春大人塾」、「命のバトン活動」、「上郡ろまん再発見フェア」等の活動内容について、パネル展示により紹介。
- ・救急医療情報キット（命のバトン）の展示、使用説明書の配布。
- ・上郡ろまん再発見フェア 大型ポスターの掲示。



### ◆ 成 果

- ・活動写真のパネル展示等により、一般県民に県民交流広場事業の趣旨や取り組みについて、広くPRできた。
- ・当日は西播磨地域内外から約3,500人の来場者があり、県民交流広場同士はもとより、生活創造活動グループや各種団体等が交流を深めることで、地域づくりの意識をより高めることができた。

## 2-8 但馬地域交流フェスタ 2013

◆日時：平成25年9月7日(土) 12:00~16:30

◆場所：但馬文教府 (豊岡市妙楽寺)

### ◆趣旨

但馬地域の県民交流広場、生活創造活動グループ、はばタン消費者ネット但馬及び一般県民との交流を図り、県民交流広場事業はじめとする生活創造活動への継続的な取組への意欲を高めるとともに、県民の生活創造活動に対する理解を深め、広場実施団体、グループや個人の活動の充実をめざす。

### ◆内容

#### ◇県民交流広場但馬地域ネットワーク会議

「地域の活性化に向けて」をテーマに、県民交流広場(与布土地区)の取組事例発表、兵庫教育大学教職大学院 客員教授 廣岡 徹氏による基調講演のあと、行政、報道機関等代表者によるパネルディスカッションを実施。(参加：68団体、210名)



【広場の取組事例発表】

#### ◇県民交流広場活動紹介パネル展

県民交流広場(平成22年度採択地区)の取組事例を紹介。(参加：16地区)

#### ◇県民交流広場「特産加工品PR・物販展」

地産地消に取り組む県民交流広場(八田地区、久斗山地区)による特産加工品のPR・販売。

#### ◇はばタン消費者ネット但馬「活動交流会」

消費者問題の啓発と構成団体に取り組む小物・加工品等のPR・販売。(参加：4団体)



【パネルディスカッション】

#### ◇但馬文教府創立50周年記念シンポジウム・第2回みてやま交流会



【パフォーマンス発表】

但馬文教府創立50周年記念シンポジウム(実践発表、講演、パネルディスカッション)を開催するとともに、生活創造情報プラザ登録グループによるパフォーマンス発表や、伝統文化の継承、子育て支援などの創作活動に取り組むグループ(麦わら細工、粘土工芸、創作折り紙)による作品展を実施。

(再掲：68団体、210名)

### ◆成果

取組事例の発表、パネル展示や特産加工品のPR・販売を通して、県民交流広場の取組を広く周知することができた。

また、フェスタを機に、県民交流広場間や、生活創造活動に取り組む団体・グループとの双方向の交流が進むなど、地域において生活創造活動の広がりや組織・活動基盤の充実につながりつつある。

## 2-9 丹波地域交流フェスタ

◆日時：平成25年10月27日(日) 10:00~16:00

◆場所：丹波の森公苑 (丹波市柏原町)

### ◆趣旨

住民主体の活動と交流により丹波の森づくりが幅広く展開されている生活創造活動の成果や交流の場である「丹波の森フェスティバル2013」にあわせて開催し、来場者に県民交流広場の取り組みを紹介するとともに、県民交流広場同士の交流を図り、相互に活動のノウハウや課題を共有する。

### ◆内容

#### ◇県民交流広場活動展示

丹波地域の県民交流広場の活動を分野ごとにパネルでPRするとともに、代表的な交流広場について活動状況を紹介した。

#### ◇「丹波地域ネットワーク会議」の開催

県民交流広場の活動紹介やワークショップを行い、実施地区相互の交流や活動のノウハウ等を共有し意見を交わした。

#### ◇県民交流広場テントブースへの出展

丹波の森フェスティバル屋台コーナーにて、雲部地区、西紀北地区、上久下地区が、地元の特産品を活かした料理や農産物を販売した。

#### ◇ふれあいの場づくり

地域で活躍している若者や文化サークルの発表の場として「スマイルステージ」を設置し運営した。



【県民交流広場活動展示】



【料理・農産物販売】



【丹波地域ネットワーク会議（活動紹介・ワークショップ）】



【スマイルステージ】

### ◆成果

・丹波地域ネットワーク会議では、丹波地域の県民交流広場の継続的な取り組みに向けて、県民交流広場関係者や地域づくりに関心を持つ者が参集し、ワークショップ形式で地域課題解決の手法について学習した。

また、コミュニティ・アワード2013出展団体の篠山市福住地区及び丹波市中央地区が、アワード当日の展示資料を使って活動状況を報告した。先駆的な取り組みの2地区の活動は他の交流広場団体にも刺激になった。出展団体にとっても本番に向けてPR方法を検証するうえでも有意義であった。

・活動展示、屋台コーナー、スマイルステージ等を通じて、各県民交流広場の取り組みを一般の県民に周知することができた。

## 2-10 淡路地域県民交流フェスタ

- ◆ 日時 平成25年10月6日(日) 10:00~15:00
- ◆ 場所 県立淡路文化会館 (淡路市多賀)

### ◆ 趣 旨

淡路地域の県民交流広場相互の交流を図り、各広場の活動のノウハウや課題を共有し、活動の充実を図るとともに、今後の継続的な取組への意欲を高め、更には他の地域づくり活動団体、生涯学習団体との交流を通じて広場活動の活性化、情報発信を図ることを目的として実施。

### ◆ 内 容

兵庫県立淡路文化会館において、地域づくり活動団体や生涯学習の団体等が、子どもの健全育成を目的としたプログラム等を準備し開催する「いざなぎの丘元気っ子フェスティバル」と合同開催した。

当日は、焼き鳥、焼きそば、ハンバーガーなどの飲食・販売ブース(11ブース)、松ぼっくりや貝殻を使ったものづくり、アクセサリーやおもちゃづくりのほか、バルーンアートや押し花、紙芝居やスポーツゲームなどのわくわく体験ブース(38ブース)の出展があった。

県民交流広場からは、淡路地域の6広場が出展し、活動パネルの展示、野菜や花の販売、手作りジュース、焼き鳥などの飲食物のふるまいなど、それぞれが特色のあるブースを展開した。秋晴れの好天に恵まれ、約2,000人の参加があり、大いに賑わった。



【県民交流広場ブース風景】



【いざなぎの丘元気っ子フェスティバル風景】

### ◆ 成 果

「いざなぎの丘元気っ子フェスティバル」との合同開催ということで、県民交流広場同士の交流のみならず、幼児から高齢者まで幅広い年齢層からの参加者があり世代間の交流も図ることができた。また、パネル展示や特産物のPR、販売等を通じて、県民交流広場の取組を広く周知することができた。

### 3 全県連絡協議会及び地域ネットワーク会議

#### 〔設立の趣旨〕

平成 21 年度には、県民交流広場の実施地区が全校区の過半数となり、地域を越えた交流に対する機運が高まってきたことから、県民局ごとにすべての広場が参画し、広場運営の相談、情報交換ができる「地域ネットワーク会議」を設置するとともに、その代表者が参集して、成果の共有や共通課題の検討、広場全体の交流の場づくりを進める「全県連絡協議会」を設置しました。

なお、「地域コミュニティ・アワード」は、全県連絡協議会の企画、協議に基づき、全県レベルで広場が相互に活動のノウハウや課題を共有し、意欲を高める交流の場づくりとして実施しています。

#### 〔全県連絡協議会の実施状況〕

開催日・場 所	内 容
平成 25 年 9 月 19 日 県立但馬長寿の郷	《平成 25 年度第 1 回全県連絡協議会》 地域コミュニティ・アワード 2013 の開催に向けた意見交換を行うとともに、地域コミュニティ活性化のための取組事例集の発行にあたっての意見交換を行った。
平成 25 年 11 月 23 日 県立但馬長寿の郷	《地域コミュニティ・アワード 2013》 第 1 章及び第 2 章参照
平成 26 年 3 月 10 日 兵庫県民会館	《平成 25 年度第 2 回全県連絡協議会》 地域コミュニティ・アワード 2013 の成果や課題について意見交換を行い、今後の県民交流広場の展開について協議を行うとともに、次回の地域コミュニティ・アワードにあたっての意見交換を行った。 また、今後の広場活動の充実について、コミュニティ応援隊アドバイザーグループからの意見等を交えながら議論を進めた。

◆ 平成 25 年度 地域ネットワーク会議の開催状況

県民局名・日時	場 所 ・ 主 催	テ ー マ ・ 概 要
神戸 10/29(火) 13:00～ 15:30	【場所】 県立神戸生活創造センター 【主催】 神戸県民局	《神戸地域県民交流広場ネットワーク交流会》 【テーマ】「セミナー&喫茶で交流する県民交流広場の集い」 【概要】「セミナー」「喫茶」を通じた広場相互の情報交換・交流
阪神南 2/24(月) 10:00～ 11:30	【場所】 西宮市教育文化センター・中央図書館3階「ひろばカフェ」 【主催】 阪神南県民局	《阪神南地域県民交流広場ネットワーク会議》 【テーマ】 広場同士の交流と情報交換の場づくり 【概要】 県民交流広場事業で常設のカフェを運営している浜脇・香櫨園地区の「ひろばカフェ」にて開催した。 ① 浜脇・香櫨園地区からの活動事例報告 ② 交流会：グループに分かれ、お茶を飲みながらふれあい喫茶のような雰囲気、広場間の交流や情報交換を行った。
阪神北 11/23(土) ～24(日) 10:00～ 17:00	【場所】 いたみホール 【主催】 阪神北県民局	《県民交流広場交流会》 【テーマ】 様々な分野の地域団体との交流を図る 【概要】 まちづくり協議会をはじめとする55団体が参加
東播磨 4/20(土) 14:30～ 16:00	【場所】 県加古川総合庁舎2階会議室 【主催】 東播磨県民局ほか	《東播磨地域づくり交流会》 【テーマ】 活動の広がりをめざして 【概要】 県民交流広場と地域活動団体が、地域活動でのプラスの側面（活動を通して感動したこと、活動において効果的だった方策 等）に着目し、グループで情報交換を行った。
北播磨 11/16(土) 13:30～ 16:30	【場所】 加西市健康福祉会館 【主催】 北播磨県民局ほか	《県民交流ひろば大会》 【テーマ】 参画と協働のもと北播磨の「家族の絆」「地域の絆」「生活（くらし）の絆」を深める。 【概要】 県民交流広場実践活動発表、パネル展示、講演等を実施し、広場実施団体と自治会関係者やボランティア等との交流を行った。

県民局名・日時	場 所 ・ 主 催	テ ー マ ・ 概 要
中播磨 9/14(土) 10:00～ 16:00	【場所】 福崎町エルテ`ホール周辺 【主催】 中播磨県民局他	《中播磨地域活動交流メッセ》 【テーマ】 【概要】 県民交流広場パネル展示や活動発表を通して県民交流広場事業について広く PR した。
西播磨 2/25(火) 13:30～ 16:00	【場所】 西播磨文化会館 【主催】 西播磨地域県民交流広場ネットワーク会議	《西播磨地域ネットワーク会議》 【テーマ】 ふるさとづくりと自己実現～仲間を増やそう～ 【概要】 西播磨地域で県民交流広場事業に取り組む者が一堂に会し、相互に活動のノウハウや課題を共有することにより、広場における今後の継続的な取り組みへの意欲を高め、課題の解決や活動の充実が図られるよう、先進地の活動事例発表やCATアドバイザーの講義などを内容とする研修・交流会を開催する。
但馬 9/7(土) 12:00～ 16:30	【場所】 但馬文教府 【主催】 但馬地域交流フェスタ 2013 実行委員会	《但馬地域ネットワーク会議》 【テーマ】 地域の活性化に向けて 【概要】 県民交流広場の取組事例、兵庫教育大学教職大学院客員教授 廣岡徹氏による基調講演、並びに生活創造活動団体、報道機関、行政等代表によるパネルディスカッションを実施。
丹波 10/27(日) 13:00～ 15:00	【場所】 丹波の森公苑 【主催】 丹波県民局	《丹波地域ネットワーク会議》 【テーマ】 地域課題解決の手法 【概要】 実際に参加者から地域課題を抽出し、グルーピングした課題間の関連性等から解決策を見いだす問題解決の手法について、ワークショップ形式で学習。
淡路 6/29(土) 13:30～ 16:30	【場所】 県立淡路文化会館 【主催】 (公財)兵庫県生きがい創造協会淡路文化会館	《県民交流広場等ネットワーク化支援事業、淡路地域ネットワーク会議》 【テーマ】 広場の交流とネットワークの拡大 【概要】 淡路島内の県民交流広場事業に取り組む地区が一堂に会し、日頃の活動状況を発表する場を設け、広場相互の交流を行うことで、ネットワーク化の推進と広場活動の充実、発展を図った。

## 4 コミュニティ応援隊（CAT）の派遣

### 〔コミュニティ応援隊とは〕

県民交流広場事業の効果的な活用や、コミュニティの様々な課題解決を応援するため、県が学識者や専門家、モデル地域リーダーらに協力を求めて設置したコミュニティ応援隊（CAT）の中から、地域のニーズに沿った者を派遣します。

特に、県民交流広場を通じたコミュニティづくりにあたっては、地域の機運を盛り上げ、多くの住民の関心と参加を高めることが大切です。それには、プラン検討段階で、住民が集まり、ワイワイガヤガヤと今後のコミュニティのあり方、そのための取り組み、そして広場の整備内容といった意見を出し合っって共有していく「ワークショップ」が効果的です。このワークショップの進行を手伝う専門家も、CATから派遣します。

### 〔コミュニティ応援隊の申し込みの流れ〕

派遣を求める地域の方は、県民局県民課、文化会館、消費生活センター等（県民局圏域によって窓口が異なります）に申し込みます。

窓口機関は、CAT登録者（アドバイザーリスト）を示しながら、地域のニーズにふさわしいアドバイザーを助言し、希望にもとづいて双方をつなぎます。

コミュニティ応援隊のメンバーが、例えば、こんな課題、こんな悩みの解決をお手伝いします！

- ◎ コミュニティの大切さをみんなに理解してもらいたい！
- ◎ できるだけたくさんの住民に参加してもらって、地域の課題やニーズに即した事業プランをつくりたい！
- ◎ いろいろな意見が出て、県民交流広場の活用方向がまとまらない！
- ◎ 先行して県民交流広場に取り組んだ地域の体験から学びたい！
- ◎ コミュニティのホームページを立ち上げたいので助言がほしい 等々

県民局（県民課、文化会館、消費生活センター等）にお問い合わせください。（P52 参照）



◎あらかじめ登録されたコミュニティ応援隊メンバーの中から、地域の依頼内容にふさわしい講師をご紹介します。



◎講師に依頼内容を伝え、当日の進め方を調整するとともに、日程を調整します。（県民局もお手伝いします）



◎講師を迎え、学習会やワークショップを実施！！  
◎簡単なアンケート調査にご協力ください。

## 〔専門分野、支援・アドバイスできる内容〕

県民交流広場事業の活用や整備後の運営・活動の充実を図るため、例えば次のような支援・アドバイスが考えられます。

	助言・支援の例	アドバイザーの例
事業 活用 支援	体験談披露・地域へのアドバイス： 広場活用の成果、広場の導入・運営で直面した課題と対応方策など(0件)	県民交流広場モデル地域のリーダー
	ワークショップ開催支援： 地域の現状や整備する拠点の活用方法について話し合う、ワークショップの企画助言・進行支援など (1件)	ワークショップの進行ノウハウを持った者
	コミュニティの重要性提起、他地域の事例紹介： 地域主催の学習会やフォーラムの講演・助言など (11件)	研究者・実践家など
運営 ・ 活動 支援	地域の情報化支援： ホームページ開設、SNS活用方法など (5件)	各分野の専門家、 団体・NPOリー ダーなど
	NPOとの連携支援： 協働事業の検討・提案づくりなど (1件)	
	コミュニティビジネス支援： 起業ノウハウ・運営方法など (0件)	
	地域人材の確保支援： 地域通貨導入、人材養成の方策など (1件)	
	各種地域課題解決： 防犯、子育て、食・特産品開発、防災、文化、福祉、まちづくり、環境等各分野の活動充実など (28件)	

※ 25年度のコミュニティ応援隊の派遣は47件。その内訳を( )書きで記載しています。

## 〔ワークショップのすすめ〕

県民交流広場のプランづくりをはじめ、コミュニティづくり・まちづくりの分野で、地域の「思いを共有」し、「合意形成」を図っていくためには、ワークショップという手法が効果的です。

モデル地域においても、「多くの住民が広く意見を出し合い、思いを共有するためにはワークショップで、ワイワイ意見を出し合うのが一番良い。やるぞという機運づくりにもなった」という意見が多く聞かれました。

ワークショップとは、講義や講演など一方的な知識の伝達ではなく、参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学びあったりつくり出したりする、双方向の学びと創造のスタイルです。

県民交流広場の事業プランをまとめたり、どのような地域にしていくかを住民みんなで話し合うため、ワークショップの開催をおすすめします。

コミュニティ応援隊には、ワークショップの運営ノウハウを持つ者（ファシリテーター）が数多く参加しています。

〔経費の負担〕

派遣目的	謝 金	交通費
交流広場支援	県負担(3万円)	地域負担(実費相当額)
分野別学習支援		

〔注意事項〕

- 1 交流広場支援は、1地域年1件、分野別学習支援は、同一申請主体年2件の派遣が県負担の対象です。
- 2 県民交流広場交付決定後の謝金・旅費は、広場の活動費助成の対象となり、地域負担となります。
- 3 予算に限りがあるため、県が謝金を負担できないこともあります。
- 4 消費生活センター・地域生活創造情報プラザへのグループ登録により、会場提供等の支援もあります。

〔申込先・お問い合わせ先〕

地 域	県民交流広場事業全般の窓口	直通電話番号	コミュニティ応援隊の窓口	直通電話番号
神 戸	神戸県民センター県民課	078-361-8597	神戸県民センター県民課	078-361-8586
阪神南	阪神南県民センター県民課	06-6481-4397		
阪神北	阪神北県民局県民課	0797-83-3136		
東播磨	東播磨県民局県民課	079-421-9093	東播磨県民局県民課	079-421-9093
北播磨	北播磨県民局県民課	0795-42-9516	嬉野台生涯教育センター	0795-44-0711
中播磨	中播磨県民センター県民課	079-281-9196	中播磨県民センター 中播磨消費生活創造センター	079-281-9601
西播磨	西播磨県民局県民協働課	0791-58-2100	西播磨文化会館	0791-75-3663
但 馬	但馬県民局県民運動課	0796-26-3645	但馬文教府	0796-22-4407
丹 波	丹波県民局県民課 (丹波の森公苑内)	0795-72-5168	丹波の森公苑	0795-72-2127
淡 路	淡路県民局県民課	0799-26-2043	淡路文化会館	0799-85-1391
全 県	県庁協働推進室	078-362-4000	県庁協働推進室	078-362-4000



お電話をお待ちしています！



## 5 ホームページ等による情報発信

県民交流広場事業に関わられる方にとって、事業提案や活動を行っていくにあたって必要となる情報をできるだけ多く知ってもらい、効果的な活動につなげていただくために、「県民交流広場公式ホームページ (http://www.hyogo.kouryu-hiroba.jp)」を開設しています。

ホームページでは、イベント情報・ニュース・助成情報等の新着情報をはじめとして、次のような形で情報を発信しています。ぜひ、ご活用ください。

### 《 「県民交流広場公式ホームページ」のトップページ 》



イベント情報、ニュース、助成情報等を随時お知らせしています。

#### ▶ 新着情報(お知らせ)

イベント情報・ニュース・助成情報等

- 平成24年度当初予算について(2012/02/24)New
- リレーコラム(篠山市日置地区より)(2012/02/13)
- リレーコラム(淡路市生田地区より)(2012/01/26)
- 地域コミュニティ・アワード2011の開催結果(2011/12/20)
- 取組事例集[2]を発行(2011/12/02)

#### ▶ 知事メッセージ

元気で安心な地域づくりをめざして  
兵庫県知事 井戸 敏三

#### ▶ コミュニティってなに?

いま、コミュニティが注目されています  
コミュニティの現状と未来、活動に参加する魅力をご紹介します

#### ▶ 県民交流広場事業について

皆さまのコミュニティ活動を支援します  
県民交流広場事業のご紹介と活用メリット

#### ▶ 事業を活用しよう!

事業の活用をご検討の方へ  
応募条件など必要な手続き

#### ▶ プランづくりのポイント

地域づくりは自分たちの手で  
立ち上げから運営までのノウハウがいっぱい

#### ▶ さらに詳しく・

PRビデオ、ハンドブック、活用の手引き  
各種ダウンロードコンテンツが充実

#### ▶ コラム

地域コミュニティが兵庫を変える

県民交流広場事業の実施にあたって参考となる情報を掲載しています。

#### 県民交流広場がいっぱい!

▶ 地域の紹介

#### Q&A

▶ よくある質問と回答

#### コミュニティ 応援隊

▶ 専門家を派遣します

県民交流広場実施地区を紹介しています。

県民交流広場事業と協働するNPOの運営サイト



コミュニティ応援隊の派遣に関する情報を掲載しています。

